

鉄道旅行研究部 活動報告

令和7年4月20日(日) 伊豆箱根鉄道 大雄山線撮影会

1. 目的

秋頃に伊豆箱根鉄道大雄山線^{だいゆうざんせん}で走行する「写真展示列車」や総文祭^{そうぶんさい}※1「鉄道研究発表会」で展示する写真の撮影。

2. 旅程

表 簡易旅程表

7:30	川崎駅発車	
8:43	小田原駅到着	
写真撮影	塚原駅付近 ^{つかはら}	富士山と撮影
	大雄山駅付近	コデを撮影
	飯田岡駅付近 ^{いいたおか}	土手で撮影
	穴部駅付近 ^{あなべ}	
	小田原駅	昼食
	井細田駅付近 ^{いさいだ}	小田急線を撮影
	五百羅漢駅付近 ^{ごひゃくらかん}	
15:26	小田原駅出発	踊り子号乗車
16:14	川崎駅到着	

3. 本文

川崎駅から小田原駅に東海道線の普通列車で移動しました。小田原駅前で高文連^{こうぶんれん}※2の方々と打合せを行いました。

打合せ終了後は各校がそれぞれ考えた撮影場所へ向かいました。私達は塚原駅付近の富士山が望める撮影地に向かいました。



図 塚原駅付近の撮影地

次に向かった撮影地は終点の大雄山駅です。旧省電^{きゅうしょうでん}のコデ165系が留置してあり、珍しい電車を観察できます。工事列車専用車で専ら^{こうじれっしゃせんようしゃ もっぱら}甲種輸送^{こうしゅゆそう}の牽引^{けんいん}を担っているようです。



図 コデ135形電車

次に向かった撮影地は飯田岡駅から穴部駅の間で平行する狩川^{かりかわ}の土手です。菜の花が自生しており、春の季節感を収めた一枚を狙いに行きました。この区間も富士山が顔を見せてくれる場所です。



図 菜の花と電車



図 富士山と電車

穴部駅へ移動した後は、小田原駅で昼食を頂き

川崎市立 川崎総合科学高等学校 定時制 鉄道旅行研究部

ました。小田原まで来たら箱根はすぐそこ。と言うことで「箱根そばさん」に入店しました。カレーが店舗限定ということなので、一緒に頂きました。



図 昼食

昼食後は井細田駅と五百羅漢駅の間にある小田急線の足柄駅へ留置線と廃線跡の観察をしました。

廃線跡は「日本専売公社小田原工場専用線」で1984年まで使用されていた貨物線です。踏切柵などの微かにその名残を残すのみで、遊歩道や砂利道となっています。



図 足柄駅付近で小田急線を観察



図 小田急線を撮影

集合時間が迫っていたので、五百羅漢駅から小田原駅に向かいました。高文連の方々との終了の打合せに参加して東海道線で川崎に戻りました。

部員の要望により帰路については、季節限定の

「臨時 踊り子8号」に乗車しました。感覚的に8割ほどの乗車率で混雑をしていました。3号車にはラウンジが設置してあり、通路側の座席でも雄大な湘南の海を望むことができます。



図 特急のラウンジ

4. まとめ

この活動報告は高文連の鉄道研究専門部が主催した伊豆箱根鉄道大雄山線撮影会の参加記録です。当校鉄道旅行研究部から部員1名が参加しました。旅費は計画時点で2,952円(交通費)でした。

5. 資料

※1：総文祭

神奈川県高等学校総合文化祭

※2：高文連

神奈川県高等学校文化連盟

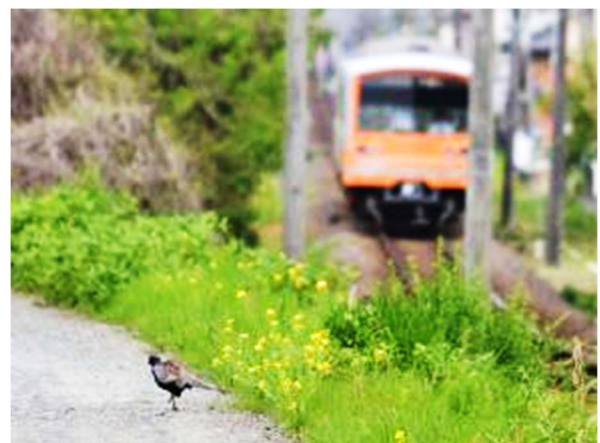


図 キジと電車と菜の花